

# クリーニングを利用するときの チェックシート

## クリーニング利用前に、品物をチェックしていますか？

品物全体をよ〜く確認し、シミや汚れがある場合にはどこにあるのか？何の汚れか？いつ付着したものか？など、できるだけ具体的にお店の人へ伝えましょう。



## ポリ包装カバーは外して収納していますか？

クリーニング返却後のポリ包装カバーは、お店から自宅までの汚れ防止が目的です。カバーを外さず保管した場合、変色等が起こる恐れがありますので、必ず外して保管しましょう。



## スーツなど上下お揃いのものは一緒に出していますか？

スーツなど上下お揃いのものを、それぞれ別の日にクリーニングに出すと、色合いが変化する場合があります。スーツに限らず、セットで販売されている衣類については、一緒に出しましょう。



## 付属品などの確認をしていますか？

品物にベルトやフードなど付属品がある場合は、クリーニングに出す時と受け取る時に、お店の人と一緒に付属品の有無を確認しましょう。



## 初めて洗う品物や特に大切な品物は、 お店の人へ伝えていきますか？

初めてクリーニングする品物は、素材によって色、寸法、風合いが変化する場合があります。また、形見品、記念品、高級品などは必ずお店の人へ伝えましょう。



## 衣類に関する相談相手としてクリーニング店を 利用していますか？

組合加盟店では、日々進化する衣類や繊維の情報を入手しています。お手入れ方法、保管方法などお客様の衣類に関するアドバイスも行えますので、上手にクリーニング店を利用しましょう。



# 失敗しない服選び チェックシート

## 衣類にも寿命(賞味期限)があるのはごぞんじですか？

最近の衣類は様々な加工がされており、そのため着用せずとも劣化は避けられません。アウトレットやオークションなど一見新品のようでも製造後年数が経過しているような場合は、充分確かめたくうえで購入しましょう。



## 「高額商品は長持ちする」と誤解してませんか？

高額な衣類であっても、繊維の特性や縫製方法などから、必ずしも耐久性があるとは限りません。クリーニングに不向きな品物も出回っており、価格と品質は一致しないことを知っておきましょう。



## 取扱い絵表示、組成表示はありますか？

法律で取扱い絵表示をつけるよう義務づけられています。それらの表示等は、クリーニング業者も処理を行う際に利用、参考にします。品物により、これらの情報を示すタグが縫い込まれていない場合がありますので、購入時は必ずチェックしましょう。



## 異なる素材を組み合わせた服を購入していませんか？

綿と皮革の組み合わせなど、素材の特性上洗い方がそれぞれ異なり、クリーニングが不可能な衣類が販売されています。このように特殊な衣類は、購入を避けるか、着用後のお手入れ方法について、必ず販売員等に相談してから購入しましょう。



**クリーニング事故が起こった時、その原因がクリーニング業者の過失による場合は、クリーニング事故賠償基準に基づいて賠償いたします。**

(この「クリーニング事故賠償基準」は、クリーニング店はもとより、デパート・アパレルメーカー・消費者センター・裁判等でも利用されるなど、大きく評価され、認知されている制度です。)



お気に入りの服でくらしを楽しむ クリーニングでなが〜く楽しむ

## 京都府クリーニング生活衛生同業組合

安心と信頼のクリーニングパートナー